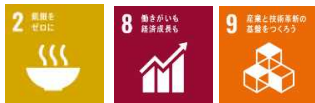


根室港湾事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

私ども根室港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種取組を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、根室港など管内の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



農水産物輸出促進の取組

さんま水揚げ全国一位の根室港花咲港区では、屋根付き岸壁を整備し、鳥フンなどの混入や日射による鮮度低下を防ぎ、品質の保持・向上を図るとともに水産物の付加価値向上・輸出促進を進めています。現在、1棟目の屋根施設が完成し利用を開始しており、引き続き、2棟目の屋根付き岸壁の工事を実施しています。



地域の持続可能な水産業を促進

根室港・霧多布港は、北海道東部の水産拠点として重要な役割を担っています。港湾施設の整備が進められる一方で、整備した施設の老朽化が進行しているため、施設点検を行い、計画的かつ効率的に改良工事を行っています。現在、根室港(根室港区)では、船揚場の改良工事、霧多布港では北防波堤の改良工事を実施しています。



大規模自然災害に備えた防災力強化

根室港は、全国有数の水産拠点であると同時に物流拠点として重要な役割を担っています。千島海溝沿いの根室沖巨大地震については今後30年以内の発生確率が80%以上と切迫する中、耐震強化岸壁などのハード対策と合わせて、BCP策定や防災訓練実施などソフト対策にも参画することで地域の防災力を高めています。

